

震災時等危険物 仮貯蔵 仮取扱い 実施計画届出書(記載例)

		年 月 日		
(宛先) 前橋市消防局長		申請者		
		住所 前橋市〇〇町〇〇〇番地〇〇 (電話) 〇〇〇-〇〇〇〇		
		氏名 〇〇工場株式会社 代表取締役 〇 〇 〇 〇		
危険物の所有者、管理者又は占有者	住所	前橋市〇〇町〇〇〇番地〇〇 電話 〇〇〇-〇〇〇〇		
	氏名	〇〇工場株式会社 代表取締役 〇 〇 〇 〇		
仮貯蔵・仮取扱いの場所	所在地名称	前橋市〇〇町〇〇〇番地〇〇 〇〇工場株式会社東側空地(コンクリート舗装)		
危険物の類、品名及び最大数量	第四類第一石油類・ガソリン 3,000ℓ	指定数量の倍数	15倍	
仮貯蔵・仮取扱いの方法	ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い			
仮貯蔵・仮取扱いの管理	<ul style="list-style-type: none"> ・保有空地の周囲にバリケードを設け空地を確保 ・敷地の出入り管理の徹底 ・作業前後の点検及び記録の作成 			
現場管理責任者	住所	前橋市〇〇町〇〇〇番地〇〇 緊急連絡先〇〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇		
	氏名	〇〇課〇〇係 〇 〇 〇 〇		
消火設備	第5種消火設備 10型粉末消火器 3本			
その他必要事項	金属製携行缶による給油は、この場所以外では行わない。			
※受付欄	※経過欄			
備考				

備考

- 1 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 2 ※印の欄は、記入しないこと。

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書

ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い

1 目的

震災等により被災地においてガソリン等の燃料が不足した場合に災害復興支援車両等への燃料補給を行うことを目的とし、危険物施設外の場所での一時的な貯蔵やドラム缶から手動ポンプ等を用いて金属製携行缶への詰め替えを行い、仮設の燃料供給拠点として利用するために必要な事項をあらかじめ計画するものである。

2 仮貯蔵・仮取扱いをする場所

前橋市〇〇町〇〇〇番地〇〇 〇〇工場株式会社東側空地（コンクリート舗装）

3 仮貯蔵・仮取扱いに使用する部分の面積

約360㎡（15m×24m）

4 詳細レイアウト

別紙のとおり

5 仮貯蔵・仮取扱いをする危険物の類、品名、数量

第4類第1石油類（ガソリン） 3,000ℓ

6 指定数量の倍数

1.5倍

7 貯蔵及び取扱い方法

- (1) 200ℓの金属製容器（ドラム缶）にて貯蔵する。
- (2) 保有空地を6m確保する。
- (3) 貯蔵場所と取扱い場所に6mの間隔をとる。
- (4) 高温になることを避けるために通気性を確保した日除けを貯蔵場所に設置する。
また、取扱い場所において、危険物が長時間炎天下にさらされないようにする。
- (5) 第5種消火設備 10型粉末消火器 3本を設置
- (6) 標識・掲示板を設置し関係者に次の事項について注意喚起を行う。
「危険物仮貯蔵・仮取扱所」、「危険物の類・品名・数量・倍数」、「火気厳禁」

8 安全対策

- (1) ドラム缶本体、給油に使用するドラムポンプ等のアースを確保する。
- (2) 危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者免状保有者が行う。
- (3) 危険物を取り扱う者は、静電安全靴を着用する。

9 管理状況

- (1) 保有空地の周囲にバリケード等を設け、空地を確保する。
- (2) 敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。
- (3) 作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。

10 その他必要な事項

金属製携行缶による給油は、この場所以外で行わない。

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書(ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い)



